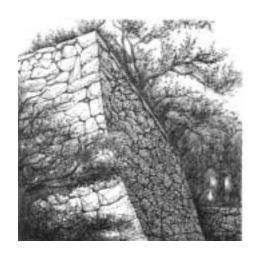
新聞連載小説でよみがえる忠政

11月初旬スタート

皆木和義・作 森忠政

が11月から250回の予定で山陽 記念で脚光を浴びている忠政の人 新聞に登場します。 物像や功績が物語で再現されます。 **森忠政を主人公とする連載小説** 築城400年 上村真未・画



あらすじ

で美濃金山城主・森可成の6男だったが、朝だった。忠政は、織田信長の有力武将 長可を小牧・長久手の戦いで亡くした翌政 (後の津山藩主)という。 最愛の兄の 死にした森蘭丸らがいた。 父も兄もすべて戦死していた。 兄には、 14歳だった。決意した朝、 冢臣とともに、 本能寺の変で織田信長といっしょに討ち 「名君夢飛翔」と書いた。その名を森忠 ある少年が強烈な夢を描いた。 将来 たったひとりになった忠政が、多くの 天下に名だたる名君になりたいと。 戦国の激動の世をいかに 墨跡鮮やかに

作者プロフィール

名君への夢路が、信長、 渡り合ったのか。忠政の 家康・秀忠・家光とどう

合いを通して描かれる。

徳川三代との絡み

皆木和義さん

勝央町生まれ。早稲田大学法学部卒。 経営コンサルタントとして活動する 気鋭の作家として文筆業に従事。 少年時代より宮本武蔵にあこがれ、 歴史の研究を始める。また、経済界

たのか。豊臣秀吉、徳川国主大名 (太守)になっ 美作8万6、500石の

して乗り越え、

のさまざまな研究会や勉強会などの代表世話人を務めるなど 財界に広い人脈を持つ。著書には「武蔵の学習力」「稲盛和夫と中村天風」「MBAビジネスプラン」など多数。現在「日 「稲盛和 - 」に小説「楽土の商人」を連載中。



津山城築城400年記念事業推進室圓32 2023



ところ **八場券販売所**津山城築城40 夜の部 昼の部 0年記念事業実行委員会事務 0円)、親子券 (親子1人ず 津山文化センター、 局 (市役所2階)、グリーン 無料託児あり (予約要) つ)2、000円(当日券なし) ヒルズ津山リー ジョンセンター 校生800円 (当日1、 レ津山ほか 10 800円)、4歳~高 一般1、500円(当 津山文化センター 月 31 日 午後6時30分開演 午後1時30分開演 (日 ベルフォ 0

かつて津山城があった鶴山公園 少年ケンは謎の巨大な白フクロウに誘われ 不思議の世界へ入り込む この世とあの世の境目でケンが見たものは 君は忠政に逢えるだろうか

物語を熱演します。 津山城の石垣を舞台にした冒険 全域から集まったキャストが、 築城400年記念を機に美作

とき:11月7日(日)午後1時30分~3時 センター 演題:みんなの命 輝くために **ところ**:グリーンヒルズ津山リージョン 講**師**:大谷昭宏さん(ジャーナリスト) 問い合わせ先:市教委社会教育課回32-2119へ

みんなのミュージカル